

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 7 月 1 日

奈良市長 殿

提出者

住所 奈良市北半田中町19番地

氏名 住都営繕株式会社 代表取締役 松村 建志

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0742-26-1304



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住都営繕株式会社
事業場の所在地	奈良市北半田中町19番地
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	(日本標準産業分類の区分を記入すること) 総合工事業
②事業の規模	(業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること) 元請完成工事高 250000万円
③従業員数	55 人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	固形化/飛散防止+二重梱包 排出 ↓ 収集・運搬 ↓ 再生/埋め立て処分

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社（工事営業部）

↓

本社（産業廃棄物管理責任者）

↓

各工事現場担当者

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	
	排出量	195.70 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	廃棄物の排出を削減できる工法があれば採用		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	
	排出量	40.00 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	工法の改善による廃棄物の削減		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃石綿等 他の一般産業廃棄物と混合しないように仕切りを設ける取組
② 計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃石綿等 他の一般産業廃棄物と混合しないように仕切りを設ける取組

(第3面) (第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する

① 現状① 現状	【前年度 (【 5 年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類 特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量 自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組)		
	過去の実績なし過去の実績なし		
② 計画② 計画	【目標】 【目		
	特別管理産業廃棄物の種類 特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量 自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組)		
	今後の予定なし今後の予定なし		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する

① 現状① 現状	【前年度 (【 5 年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類 特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量 自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
今後の予定なし			

(第4面) (第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項自ら行う特別管理産業廃棄物の

① 現状① 現状	【前年度（【 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類 特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	
	自ら埋立処分を行った 特別管理産業廃棄物の量 埋立処分を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組)		
	過去の実績なし過去の実績なし		
② 計画② 計画	【目標】【目		
	特別管理産業廃棄物の種類 特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	
	自ら埋立処分を行った 特別管理産業廃棄物の量 埋立処分を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組)		
	今後の予定なし今後の予定なし		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状① 現状	【前年度（【 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類 特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	
	全処理委託量全処理委託量	195.7 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	195.7 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。 (高温融解し、無害化等)		

(第5面)

② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	
	全処理委託量	40 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	40 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。 (高温融解し、無害化等)		
電子情報処理組織の 使用に関する事項	【前年度（ 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く)	0	t
	(今後実施する予定の取組) 次年度（令和6年度）より電子マニフェストを使用しての 報告を取組予定		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請工事完成高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。